

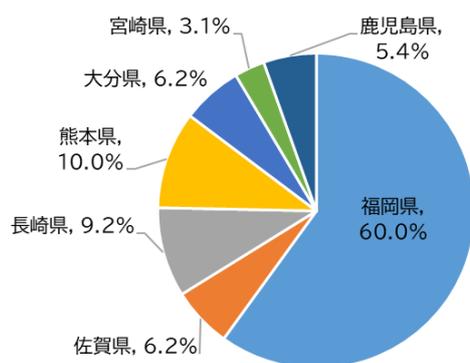
2021年度 新入社員採用に関するアンケート調査(Web)

「オンラインを活用した採用、人事担当者の印象を調査」

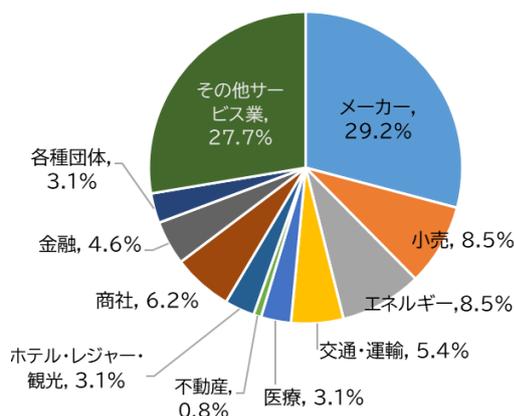
調査のねらい	コロナ禍初の採用活動となった2021年度(4月入社)の企業の採用活動について、採用状況に変化はあったか、コロナで増えたオンライン選考の九州での活用状況や入社後の印象ギャップ、働き方が変わる中で企業の採用ポイント等について調査した。
調査対象	九州生産性本部 会員企業のうち504社(労組、組織の重複を除く)
調査期間	2021年4月12日～4月14日(3日間)
調査方法	各企業の代表メールアドレスへアンケートを依頼、Web上から回答(1組織、1回答)
回答数	130組織(回答率25.8%)
調査項目	(1)会社所在地 (2)業種 (3)従業員数 (4)2021年度4月に新入社員を採用したか (5)前年度と比較しての採用人数の増減 (6)どういうポイントで採用したか(複数選択可) (7)採用活動でオンラインを使用したか(2021年4月入社) (8)オンライン選考を実施した人事担当者へ「入社後の印象の変化」 (9)2022年度採用活動でオンラインを使用するか

【回答企業区分】

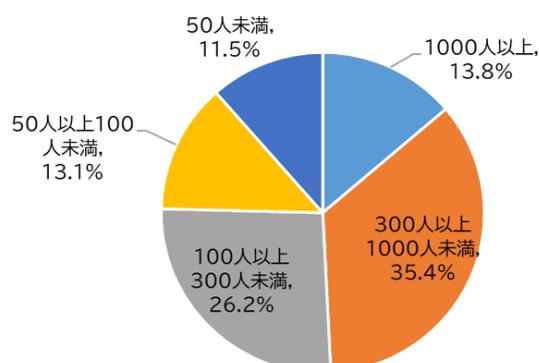
(1) 会社所在地



(2) 業種



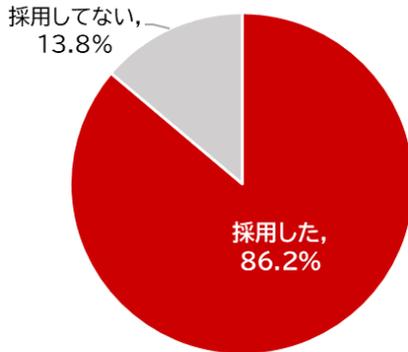
(3) 従業員数



(4) 2021 年度 4 月に新入社員を採用したか

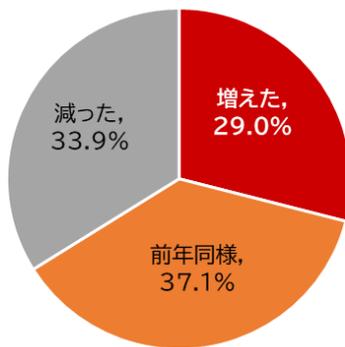
コロナ禍でも 86.2%の企業が採用を実施した。

2021 年度「採用していない」と回答した企業のうち、2022 年度も「採用予定はない」と回答した企業は 50.0%。



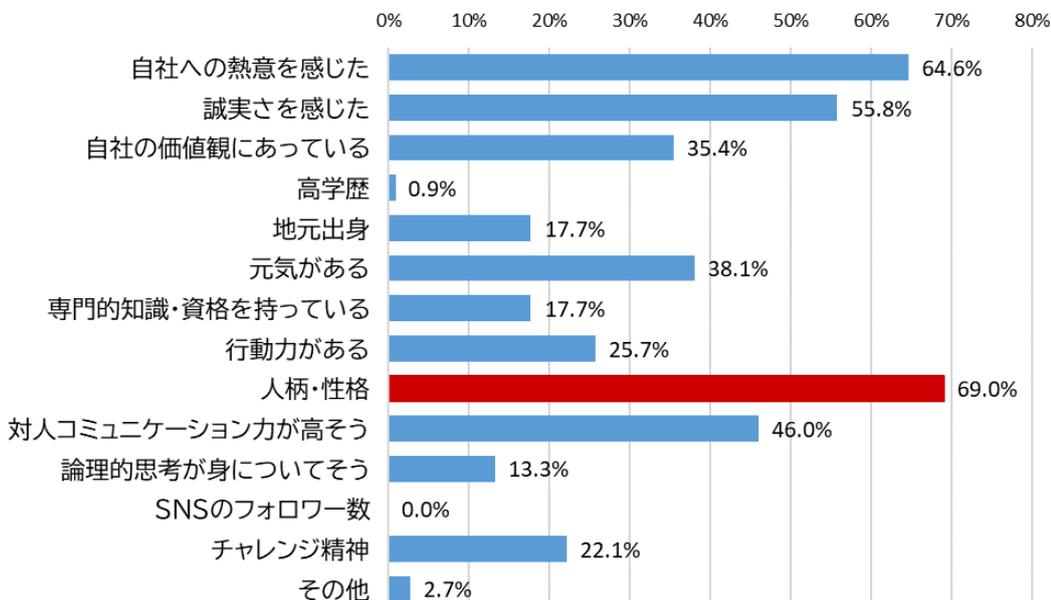
(5) 前年度と比較しての採用人数の増減

37.1%の企業が前年同様の人数を採用しているが、採用人数が減った企業は 33.9%あり、増えたと回答した企業(29.0%)より 4.9 ポイント多い。



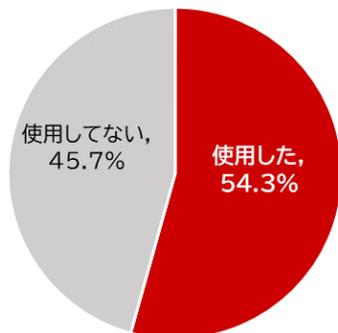
(6) どういうポイントで採用したか(複数選択可)

企業が採用するポイントの順位は、「人柄・性格」が一位、その後「自社への熱意を感じた」「誠実さを感じた」「対人コミュニケーションが高そう」と続いた。「その他」の回答には、総合的判断、基礎学力、障がい者雇用などがあった。



(7) 採用活動でオンラインを使用したか(2021年4月入社)

2021年度4月入社を採用を行ったと回答した企業(112組織)の中で、選考の過程で「オンラインを使用した」と回答した企業は54.3%であった。従業員規模別で見ると、1000人以上の企業は77.8%がオンライン採用を行っている一方、300人未満の企業は30.3%にとどまっている。

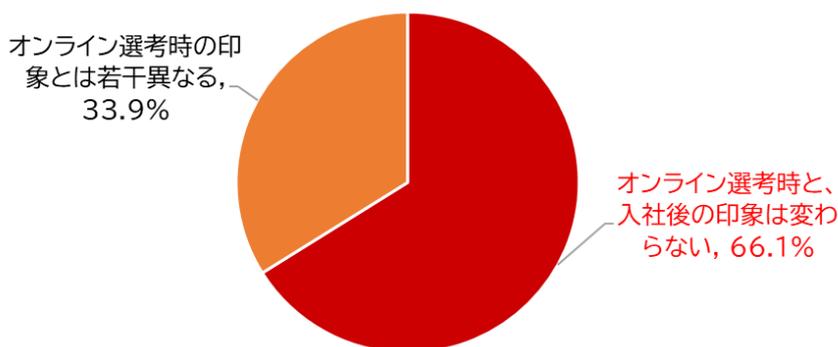


(従業員規模別オンライン使用状況)

1000人以上	77.8%
300人以上1000人未満	60.9%
300人未満	30.3%

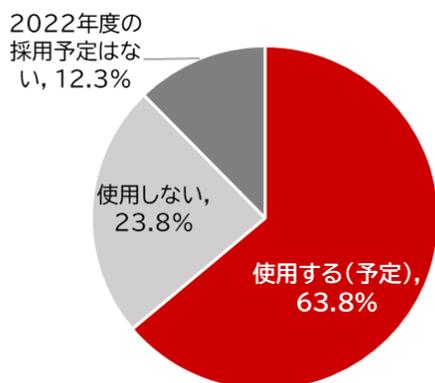
(8) オンライン選考を実施した人事担当者へ「入社後の印象の変化」

オンライン選考を実施した企業の約7割が、「選考と入社後の印象は変わらない」と回答。オンライン選考でも自社に適した人材を採用できていることがうかがえる。



(9) 2022年度採用活動でオンラインを使用するか

コロナ禍の中で、昨年よりもさらにオンラインを活用して採用活動を行う企業が増えることがうかがえる。また、(8)の質問で「印象が若干異なる」と回答した全ての企業が、次年度も引き続きオンラインを使用して採用活動を行うと回答した。距離の制限を受けずに入社試験を行えることや、移動、宿泊に係る各種採用コストを抑えられることもその要因と思われる。



(従業員規模別オンライン使用予定)

1000人以上	83.3%
300人以上1000人未満	67.4%
300人未満	56.1%